

NGOの即戦力育てる

次世代の非政府組織（NGO）の担い手を育てる研修会「コミュニティ・カレッジ」が八月下旬から、約半年間の日程で名古屋市などで開かれる。十四日午後一時から、名古屋市中区新栄町の名古屋YWCAで説明会があり、参加者を募っている。

NGOなどで働きたい人は年々増えている一方、NGOが求めるのは即戦力。コミュニティ



2011年12月、インド・アンドラプラデシュ州での研修で現地の人たちと話す参加者ら。名古屋NGOセンター提供

名古屋で14日に説明会 来月開講、被災地での研修も

・カレッジは「すぐ働ける人材を育てよう」と、名古屋NGOセンター（名古屋市中区）が二〇〇二年度に始めた。Nたま（NGOの卵）の通称で親しまれ、ほぼ毎年開講。これまでの修了生百三十四人の半数以上が、NGOやNPOのスタッフになっている。

今年は、東日本大震災で被災した福島県南相馬市、宮城県七ヶ浜町が国内研修先に。中部地方の団体が支援活動に取り組む現場で、支援のあり方などを考える。ほかに東海地方のNGOでのインターンシップ（就業体験）、飢餓が生み出される構造などを学ぶ講座も。インドでの海外研修もある。受講料は必須講座九万五千円、東北・海外研修やインターンシップは別料金。

説明会は無料で、修了生が体験談を披露する。申し込み、問い合わせはNGOセンターへ。電話052(2228)8109へ。